



©Parc - Film Marianne Productions

Beauties presents
WEEKEND CINEMA Vol.2
 ロベール・ブレッソンの芸術

2015年8月21日(金)・22日(土)・23日(日)
 会場 アンスティチュ・フランセ東京“エスパス・イマージュ”(飯田橋)



「カメラの前に立つより、
 カメラを回す方が面白いわ」と、
 彼女たちは言った――

*French Female
 New Wave*

Beauties presents
WEEKEND CINEMA Vol.1
 フレンチ・フィーメール・ニューウェーブ

2015年7月17日(金)・18日(土)・19日(日)
 会場 アンスティチュ・フランセ東京“エスパス・イマージュ”(飯田橋)

©LFP-Kes Films Pelléas, Razor Film, ARTE France Cinéma, Rhône-Alpes Cinéma Jouror Productions 2011
 ©2011 The Film/ Mars Films/ France 2 Cinéma/ Tempête sous un crâne production
 ©International Sales: INSOMNIA WORLD SALES & Producer: DOLCE VITA Films

Beauties presents
WEEKEND CINEMA Vol.1

フレンチ・フィーメール・ニューウェーブ

いまもっとも注目されるフランスの女性監督たちによる3作品を紹介



『グッバイ・ファーストラブ』

2011年/110分/カラー/デジタル
監督・脚本：ミア・ハンセン＝ラブ
出演：ローラ・クレトン、
セバスティアン・ウルゼンドフスキー

15歳の頃の初恋をひきずるカミーユ。大学で出会った年上の男とつきあいはじめた彼女は、ある日初恋相手のシュリヴァンと再会するが……。本作は、監督作『あの夏の子供たち』(2010年)で注目を集め、9月に新作『EDEN エデン』(2014年)が公開されるミア・ハンセン＝ラブの長編3作目。多感な少女が大人への階段を登り始める瞬間を美しくとらえたみずみずしい青春映画。



『スカイラブ』

2011年/113分/カラー/デジタル
監督・脚本：ジュリー・デルピエ
出演：ジュリー・デルピエ、
ベルナデット・ラフォン、
エマニュエル・リヴァ

ゴダール、カラックスに愛され、いまや国際派女優として活躍するジュリー・デルピエ。『パリ、恋人たちの2日間』(2007年)など映画監督としても活躍する彼女が手がけた本作は、1979年のブルターニュ地方を舞台にしたちょっとおかしな大家族の物語。祖母の誕生日に集った親戚たちの繰り広げる人生模様が、11歳の少女アルベルティヌの視点を通して描かれる。



『ベルヴィル・トーキョー』

2011年/75分/カラー/デジタル
監督・脚本：エリーズ・ジラル
出演：ヴァレリー・ドンゼリ、
ジェレミー・エルカイク

映画館で働くマリーは現在妊娠中。映画評論家の夫との関係に悩む彼女は、ある日東京へ出張中の彼がパリのアジア人街ベルヴィルにいるのを発見し……。妊娠中の妻と、父親になることを受け入れられない夫のすれ違いを巧みな演出で描いた切ないラブストーリー。主演は、『わたしたちの宣戦布告』(2011年)で監督・主演二役をつとめたヴァレリー・ドンゼリ。監督は、本作が初の長編劇映画となるエリーズ・ジラル。

■ 7月17日(金) 19:15~の回上映終了後

坂本安美さん(アンスティチュ・フランセ日本映画プログラム主任)トーク「フランスの女性監督たちの現在」(30分程度)

■ 7月18日(土) 15:15~の回上映終了後

猫沢エミさん(ミュージシャン・文筆家)トーク「フレンチ・カルチャーから映画を見る」(30分)